



天文資料

2024年2月号

令和5年度 第11号 (2月号)

令和6年1月25日

発行：佐世保市少年科学館

佐世保市少年科学館



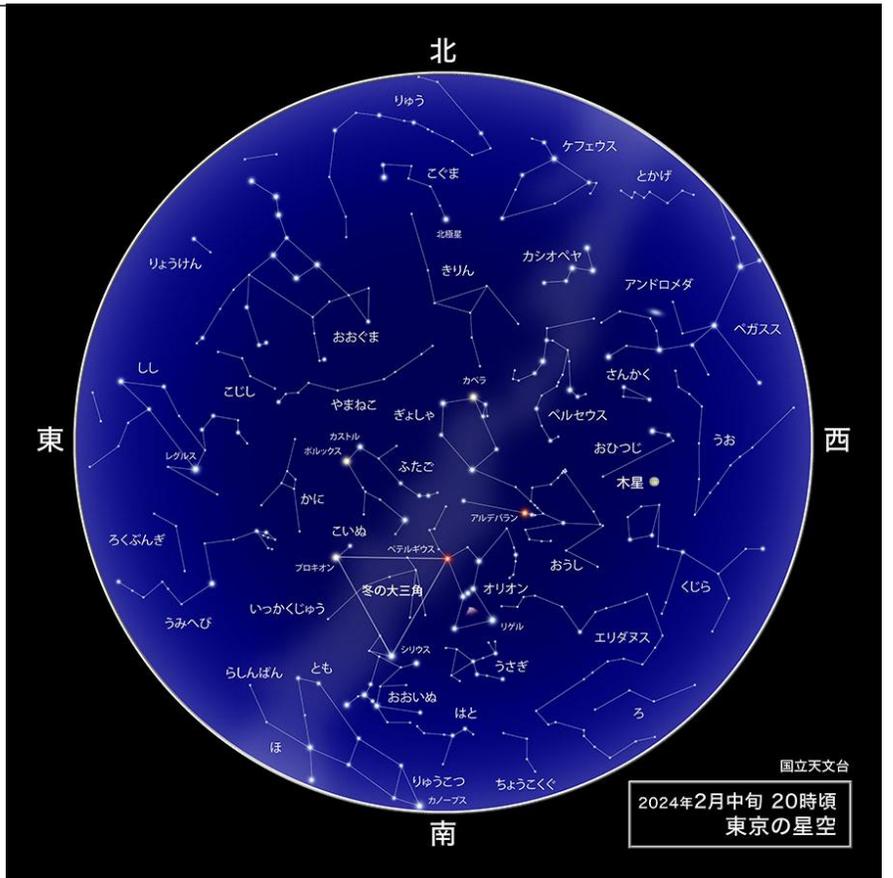
<冬の空で輝く木星・金星>

日の入り後に空が十分暗くなった頃、真っ先に目につくのは、群を抜いて明るい木星です。南の空には冬の星座が見えています。夜が更けると、冬の星座と入れ替わるように、春の星たちが東の空から次々と昇ってきます。

明け方には金星が見えており、朝焼けの中で細い月と近づく7日頃は見栄えがよいでしょう。日々、低空へと高度が下がっていき、「明けの明星」も存在感が

薄れていきます。また、2月の満月は、2024年で地球から最も遠くで起こる満月となります。

- 3日 節分/下弦
- 4日 立春(太陽黄経315度)
- 5日 アンタレス食
- 10日 新月
- 11日 建国記念の日
- 17日 上弦
- 19日 雨水(太陽黄経330度)
- 23日 天皇誕生日
- 24日 満月(2024年で地球から最も遠い満月)
- 28日 水星が外合
- 29日 土星が合



国立天文台
2024年2月中旬 20時頃
東京の星空



天体観望会のお知らせ・・・木星・月・冬の星座

2月17日(土) 18:30～ (2月10日(土)から受付開始)

電話予約制(23-1517) 定員50名

観覧料：小中学生150円、高校生以上320円

※当日が雨天、曇天の場合はプラネタリウムで星座解説を行います。

